

不定愁訴分類「虚実スコア」の作成と信頼性および妥当性の検討

村田信八

2022 年度修了の村田信八です。現在、株式会社ムラタ漢方 代表取締役、株式会社 Waistline group 取締役、一般社団法人未病医学研究所 理事長を拝命しております。

東洋医学の健康概念は、心身のバランスが良い状態を健康とし、病に至るまでを未病(健康の範疇だが病気になる前の段階)とします。私の研究は、未病予防の発展に寄与することを目的に、現代人へのアンケート調査によって、自覚による心身の状態を「正負(虚実)」として統計学的手段で尺度化し、「虚実スコア」を作成しました。統計学的手段を用いたのは、項目作成のために参考にした「文献」「施術者の経験」といった影響を極力排し、共通化(客観化)することを念頭に置いたためです。

その結果、「虚実スコア」の尺度項目には、文献などで虚実や陰陽といわれる症状が混在していましたが、現代人が感じる体調の実態を反映していると考えられ、読者(多くは鍼灸関係者だと思えます)が持つ東洋医学概念と合致しない部分が、新奇性といえます。

虚実スコアは、これまで共通性が殆ど無かった施術者ごとの評価に、共通性(客観性)をもたらせます。鍼灸施術を含め様々な場面でスコアを導入することで、東洋医学研究の促進がなされると考えれば、本研究の意義は非常に大きいです。

研究の限界として、調査回答者に若年者が多いことから虚の症状が弱く出てしまい、中高年者による結果と異なる可能性があります。また、横断研究のため、スコアと生活習慣などの因果が検討出来ていません。

東洋医学の概念である「未病」をスコアで評価し、健康状態や生活習慣との関連を検討することで、生活習慣病の予防・改善に寄与でき、さらには社会課題である健康関連コストが削減できると考えます。これからも研究を続けていきます。

